

温かな相談対応 心のサポーター

日線重要 / 話し方はゆっくり

三月は「自殺対策強化月間」。県内では悩みごとを抱える人の話を聞き、専門機関との「橋渡し役」となる県の「心のサポーター」の育成講座が県内各地で始まった。受講対象は一般市民。あいさつなど周囲への日常的な声掛け運動や、いざという時の温かな相談対応などで支え合いの輪を地域に広げていきたい考えだ。(北原愛)

十三日は勝山市、永平寺町など県内四方所で開催された。このうち、福井市下森田藤巻町の森田公民館では六人が「地域の役に立ちたい」と相談のルールや自殺に関する統計を約二時間かけてみっちり学んだ。

県の自殺対策事業

養成講座始まる

講師は人材派遣などの「キャリアネットワーク」(福井市)の中山喜雄社長が務め、「温かみのある表情で相手に向き合う。相づちを打つなど話を聞く姿勢を示すことで相談者は安心する」と説明。模擬相談では「視線も重要」「話し方はもっとゆっくりが良い」などと、参加者が相談者と心のサポーター役になって、互いに批評し合っていた。

二〇一一年の全国の自殺者数は三万六千五百一十一人で、十四年連続で三万人を超えた。県内の自殺者数は百七十

一人で前年より三十人、十六万円を計上した。減ったが「十年前に比べれば依然高い水準」とい。井、坂井、越前の各市と永平寺町で順次開く講座は無料で、県の「心のサポーター養成事業」の一環。一一年度 電0776(84)07の県当初予算案に百八



中山喜雄社長(左手前)と、悩みを聞く時の心構えなどについて話す参加者たち。13日、福井市下森田藤巻町の森田公民館で

て株の売り注文が殺到するの通常予想され

「J社」パーティー券購入 A 関連 80万円 長野の前議員側から

A I J 投資顧問(東か、後藤前議員は同証京)が実質的に支配するアイティーエム証券が、後藤茂之前衆院議員(金)(自民)の政治資金パーティーの券を、二度にわたり、計八十万円分購入していたことが十三日、分かった。同証券の代表取締役個人から五十万円の寄付も受け取っていたのはなかった。

ツイッターで「バスジャック」予告

短文投稿サイト「ツイッター」にバスジャック通信機能が付いたゲーム予告を書き込んだとし、監視庁高輪署は十三日、威力業務妨害の疑いをジャックする。みんな学生(モ)を書類送検する。ス会社の業務を妨害した。送検容疑は、昨年十月疑い。

威力業務妨害疑い 中学生を書類送検

高輪署は「反響き込みをロワー(注)やしたか認めていた」とも書き込

新潟で500メートル地滑り、11棟損壊

新潟県上越市板倉区に拡大した。斜面の。けが人は出ていない。雪解けが原因。砂や雪が押し寄せて十とみられる大規模な地。県によると、地滑り

80人に避難勧告

滑りが七日に確認され、十三日までに長さ約五百メートル、幅約五百メートル。流出した土

砂の、方、上越、救助、に始、く作、分、百、千